年　　月　　日　提出

動 物 実 験 計 画 書

長岡工業高等専門学校長　殿

所属学科

職　　名

実験責任者　氏名　　印

実験責任者 （教員に限る）	氏名	学科・職名	TEL	講習受講 済・未
実験従事者及び 飼養者* （全員記入のこと）	氏名	学科・職名	TEL	講習受講 済・未 済・未 済・未 済・未 済・未

研究課題		□新規　□継続

動物実験の内容（目的，意義等について記載して下さい）

動物実験の実施予定期間	年　　月　　日 ～　　年　　月　　日
動物実験の実施場所	
動物の飼育場所	

＊６名以上の場合には別紙に同様な書式で書き，添付して下さい。
選択項目（□印）の適合項目を塗りつぶして（■）下さい。

動物実験を必要とする理由	□代替手段がない　□代替手段では精度が不十分 □代替手段では経費が大きすぎる □その他（　　）

使用動物について	使用動物種及び系統名	使用動物数	入手先
遺伝的保証　□あり　□なし 微生物学的保証　□あり　□なし			

動物実験の方法（具体的に詳しく書いて下さい。スペース不足の場合は別紙を添付して下さい）

想定される痛みのカテゴリの自己判断**	□ A　□ B　□ C　□ D

動物の苦痛軽減・排除の方法および保定・拘束の時間について（関連事項を複数選択）

□軽微な苦痛の範囲なので特に処置を講じない

□鎮痛剤・麻酔等を使用する（薬剤名　　）

□重度のストレスや痛みを伴う実験であるが，実験の都合上苦痛の軽減・排除の方法がない
（実験の目的または方法の欄にその理由を記入すること）

□短時間（24 時間以内）の保定・拘束なので特に問題はない
（保定・拘束器具名：　　）

□実験の都合上，長時間（２４時間以上）の保定・拘束はやむを得ない
（保定・拘束器具名：　　）
（実験の目的または方法の欄にその理由を記入すること）

□その他（具体的に　　）

実験終了後の処置

□過剰麻酔による安楽死（薬剤名　　）

□炭酸ガスによる安楽死

□物理的方法による安楽死（□頚椎脱臼，　□断首，　適合項目の□印を塗りつぶす）

□その他（具体的に　　）

審査年月日：　　年　　月　　日

□本実験計画は，長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合する。

□本実験計画は，長岡工業高等専門学校動物実験実施規程等に適合しない。

意見等：

承認年月日：　　年　　月　　日

□この計画を承認する

□この計画は承認できない　　有効期限　　年　　月　　日

承認番号：

長岡工業高等専門学校長　　氏名　　印

＊ ＊は，論理基準による医学生物学実験処置に関する分類を参照して，判断して下さい。

実験計画申請書は年度ごとに提出してください。